

2012年3月19日
北海道国際航空株式会社

十勝管内新得町における植樹についての協定調印式開催について

北海道国際航空株式会社(本社:札幌市、代表取締役社長:齋藤貞夫、以下:エア・ドゥ)では、これまでも、地域社会貢献・環境保全活動の一環として、エア・ドゥが就航している北海道内就航4地域(千歳・旭川・函館・女満別)にて植樹等森林整備活動を実施してまいりましたが、このたび北海道内5番目の就航地域である十勝帯広地区にて同様の活動を推進すべく、新得町にて植樹を実施することになりました。

今回の新得町での植樹実施にあたりましては、北海道独自の制度である「カーボン・オフセット活用型森林づくり制度(※詳細別紙)」に参画し実施いたします。

植樹の実施に先立ち、今般、北海道代表者立会いの下、森林所有者である新得町との間で「カーボン・オフセット活用型森林づくり制度」に関する協定書締結について下記のとおり調印式を行います。

記

～ 調印式概要 ～

- 日時 2012年3月27日(火) 13時30分～13時45分
※調印式当日(3/27)はエア・ドゥのとち帯広空港就航一周年にあたります。
- 場所 十勝総合振興局2階 A会議室
- 調印者 <調印者>
 - ・新得町長 浜田 正利 様
 - ・北海道国際航空(株) 代表取締役社長 齋藤 貞夫<立会者>
 - ・十勝総合振興局長 徳長 政光 様
- 協定内容 ①対象期間・・・平成24年度から4年間(予定)
②対象森林・・・新得町上佐幌地区(町有林) 約1.0ha
③クレジット移転量・・・71t-CO₂ 等

～ 植樹実施概要 ～

- 植樹時期・・・2012年5月～6月頃(予定)
- 植樹本数・・・2,000本(苗木:カラマツ)
- 森林命名・・・「エア・ドゥ絆の森～とち帯広(新得)～」
- その他・・・植樹後約3年間下草刈り等の保育活動を実施

以上

別紙

カーボン・オフセット活用型森林づくり制度

本制度は、間伐による森林の二酸化炭素吸収量やペレットボイラーなどの小規模な二酸化炭素の排出削減量を市町村が取りまとめて企業に提供し、その対価として森林整備資金を受け取るものです。企業等がCSR活動として行う森林づくり活動の支援に向けて平成19年度に創設した「ほっかいどう企業の森林づくり」制度をより一層推進するため、新たにカーボン・オフセットの考え方を活用して平成22年度に創設した北海道独自の制度です。

〈カーボン・オフセット〉
市民等が自らの温室効果ガスの排出量を認識し、その削減努力を行うとともに、どうしても削減できない部分について、他の場所で実現した排出削減・吸収量の購入などにより、排出量の全部又は一部を埋め合わせること。

制度の概要

